

平成 29 年度 鹿児島県委託事業 「准看護師研修」

「看護記録について／進学支援」

平成 29 年 8 月 5 日に鹿児島県看護研修会館で「准看護師研修」が行われました。研修日はあいにくの雨模様といたしますが、大型台風上陸予報の前日であり、大隅半島からや離島からの申込者からのキャンセルがあり、参加者は 21 名でした。

開会に際しまして田畑協会長から挨拶があり、台風が接近する中で開催が危ぶまれましたが、離島からの出席希望者もおられ、貴重な学習の機会をなくしたくないとの思いで、開会とを決断されたことをお話されました。

次いで、中島准看護師理事から職能委員会の活動内容について紹介がありました。鹿児島県の准看護師は 1 万人強おられ、その中で鹿児島県看護協会入会者数は 700 名であり活動を強化していくことの必要性を話されました。

10 時からクオラリハビリテーション病院の植田みよ子先生により以下の内容の講義がありました。

「看護記録の基本」

- ・看護実践に証拠となるものが看護記録である。
- ・真実が正しく伝わる表現と記載内容
- ・事実の正確性と客観性

「医療安全と看護記録」

- ・医療安全の基本的な考え方

長年、医療安全に携わっていらっしゃる先生の講義内容は、事例紹介もあり即実践で活用できると感じました。

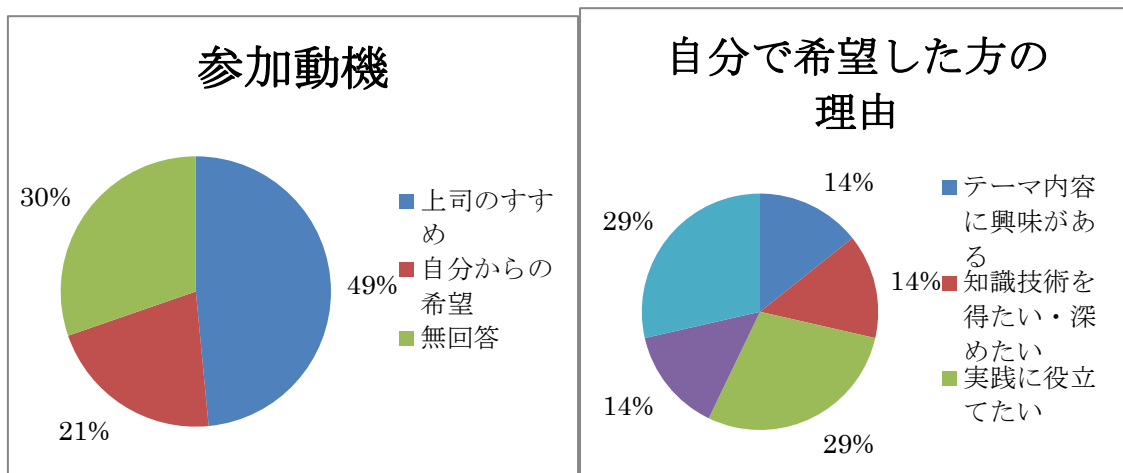
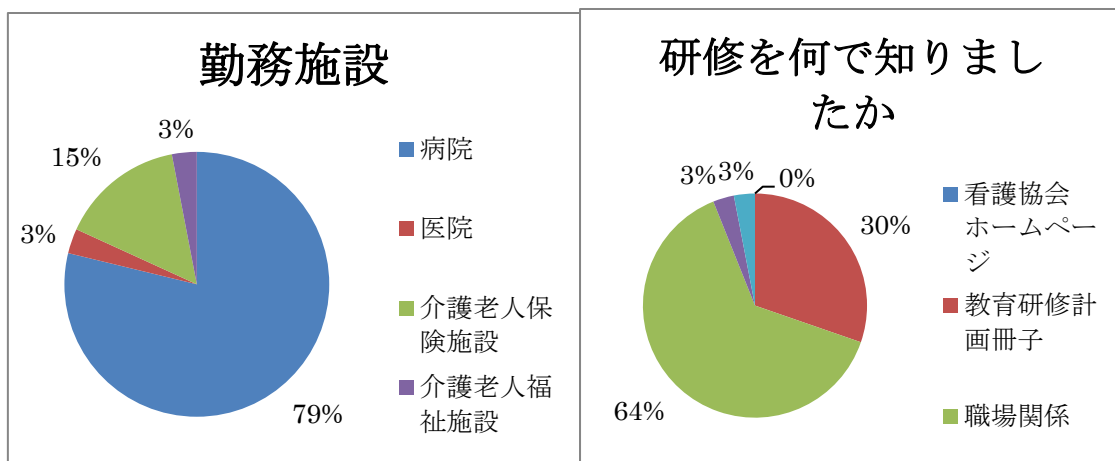
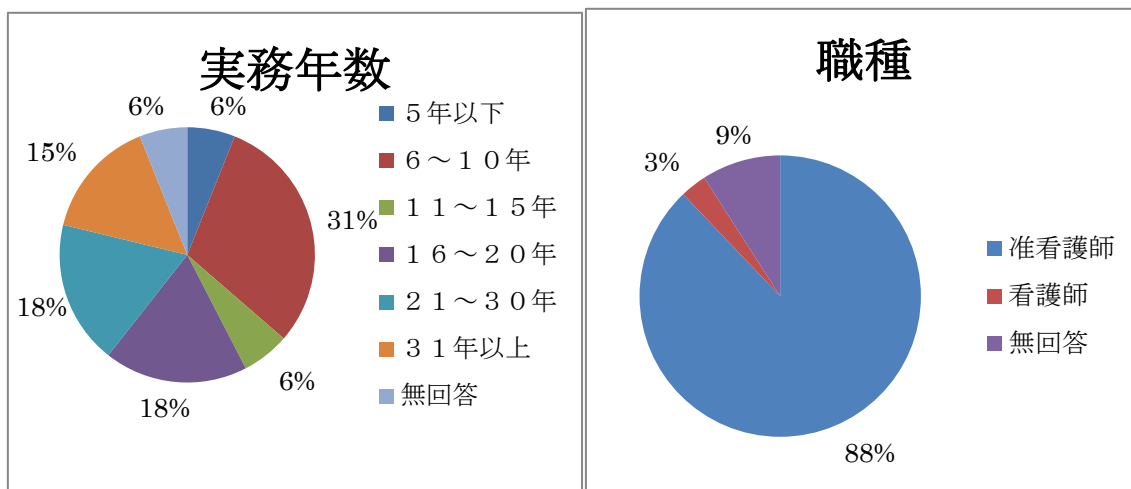
午前中に、植田先生のご協力をいただき、スケジュールを一部変更させていただき、鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）南先生により進学に関する情報提供がありました。学校案内の配布とパワーポイントによる説明があり・入学者の背景・奨学金の案内・カリキュラムについて案内がありました。

午後から植田 みよ子先生により「医療安全と看護記録」について講義がありました。事例紹介をされ看護記録から改善すべきところを解説していただきました。特に作成者不利の原則や電子カルテ特有の問題など具体的な内容に触れられ看護記録が裁判時の事実認定のツールになりえることをお話いただきました。

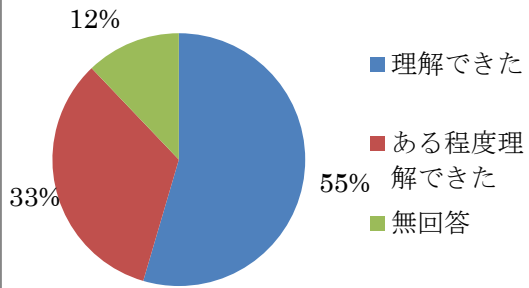
研修担当者は台風情報を入手しながら対応を行い垂水フェリーの欠航時間に合わせて、午後から 3 名が不参加となり、また受講者の帰路の安全確保のため 16 時終了予定を変更し 14 時終了となりました。

植田先生には急な講義スケジュールの変更に対応いただきました。ありがとうございました。

(アンケート結果)



講義は理解できたか



看護師職能委員会准看護師理事の活動を知っていますか

